

ぜひお読みください

町政改革・発展を考える皆様！

内容 汚染廃焼却中止求め 8,083 署名

戦略性のない創生総合戦略

公正公平性を欠く齋町政



放射能汚染廃焼却中止求め 署名8,083名

町長「焼却中止せず」 民意を無視

放射能汚染廃棄物の焼却に反対する大河原の会(代表:長谷川進、右)は6月29日、8,083名(町民6,254名、本町を訪問された町外の方1,829名)の署名を添え、齋大河原町長に焼却中止を申し入れました。

町長は要旨「焼却の実施主体の仙南広域(行政事務組合)に報告する。私の見解は変わらない。焼却は予定通り続ける」と述べ、署名に込められた民意は尊重されませんでした。正式回答は7月20日の予定です。

現在、去年の台風19号等による災害ごみの焼却が優先され、放射能汚染廃棄物の焼却は中断中です。しかし、災害ごみの焼却が予定より早く終了する見込みで、来年早々、汚染廃焼却が再開される予定です。



署名された皆様、ありがとうございました。今後も焼却中止を求め続けます。

- 主な理由
- I 私は町長時代、上谷地区区長4名及び有識者の要請に応じ「汚染廃焼却はしない」と約束
 - II バグフィルター(焼却炉のばいじん除去装置)でセシウムを完全に除去できる証拠は無し
 - III 2019年5月の汚染廃本格焼却以降、セシウム137の濃度が大幅上昇 上大谷で10倍等

第2期創生総合戦略を問う 6月議会

策定を議会に事後報告 国の指針反映せず 戦略・重点プロジェクト無し 発展期待不可

重点プロジェクトを掲げるよう提言しました	危機管理対策の強化	台風19号被害・コロナ禍踏まえ、最優先せよ 地域防災計画の策定年度を明確にせよ ①
	企業誘致	人口流出防止に重要 重点施策とせよ ②
	稼ぐ地域 ③	国の重要指針を反映し、所得向上策を掲げよ
	持続可能な開発目標 ④	国の重要指針を反映し、未来都市を目指せ
	Society 5.0(*) ⑤	国の重要指針を反映し、先端技術を支援せよ
その他	公共施設管理計画の個別計画を今年度中に策定せよ ⑥	

- 主な答弁
- ① 自主防災組織の充実を掲げている。
 - ② 重点施策への見直しは行わない。
 - ③ まち全体のブランド化を推進する。 **つぶやき** ブランド化戦略・ビジョンなく、困難
 - ④ 17の目標のうちのいずれかを特化しない。
 - ⑤ 支援対象を限定しない。
 - ⑥ 今年度中の策定は難しい。
 - (*) Society5.0 先端技術の社会生活への活用

特集 公正公平性を欠く齋町政

今年 いせさとしが追求した町長の政治姿勢

つぶやき 議会で下記の問題を取り上げた議員はなぜか いせさとし ただ一人

体育館管理職2名がタイムカードを手書きでねつ造、残業代窃取を放任

町は体育館運営をNPO法人スポーツ振興アカデミーに委託
2名のタイムカード半年分のコピーを添えた通報を受ける

約360時間分、270時間分を窃取したと推計される

NPO法人の収入のほとんどは町の委託金(=税金)

NPO法人は2名を処分せず、返金を求めず

町に、一般職員からの事情聴取を求めたが実施せず

本人及びNPO法人代表からのみ聞き取りを実施

ズサンな事情聴取で「犯罪性なし」と断定

◀出勤を確認する帳簿を事後作成 非常識がまかり通る▶

学校給食センターの入札で1グループのみ応募を作出

設計、建設、運営、厨房機の4企業によるグループを募集

10日間という短期間で募集する無茶な入札

建設企業を仙南2市7町に限定 価格競争なく、町に損害

町が参考にした白石市の同様の入札では全国募集

現在、町民が町長に損害賠償を求め提訴中

◀多くの町民が不適切と指摘する入札に、反省の弁無し▶

国のコロナ補助金第1弾の大半を企業に配分

1億円超の予算を独断決定・議会に事後報告 前代未聞

等しく禍を受けた町民へ公平に配分すべきだった、と指摘

町の貯金を取り崩し町民を救済すべし、と主張

町民への支援のため第2・第3弾のコロナ対策を提言

◀その結果 給食費・水道料金の軽減等が行われる▶

